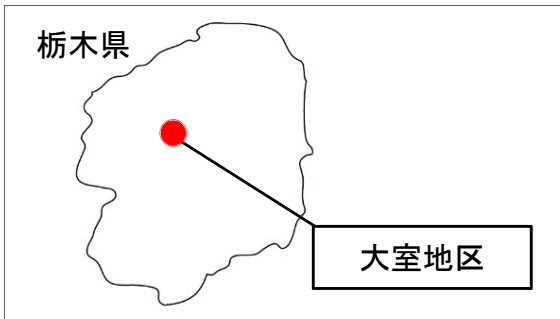


## 農地中間管理機構の活用による農地集積・集約化への取組(大室地区)

【上都賀農業振興事務所 日光市】

## 【取組地域の概要】

- 位置  
栃木県日光市



- 事業名 経営体育成基盤整備
- 工期 H22～30年度
- 受益面積 59.7ha
- 主要工事 区画整理：59.7ha  
暗渠排水：1.9ha
- 総事業費 761,722千円
- 関係土地改良区  
日光市土地改良区
- 主要作物  
米、麦、大豆、そば、  
白菜、にらなど
- 高度化支援事業  
高度経営体集積促進事業  
集積率：70% (H29実績)

## 生産基盤

- 農地の大部分が10～20a程度の形が悪く水田や畑であり、また用排水兼用の土水路であるため耕地の汎用化に支障を来している状況であった。

基盤整備  
(H23～H25)

- ほ場の大区画化や暗渠排水等の整備により、大型機械による農作業の省力化及び水田の汎用化を図り、園芸・飼料作物の導入や担い手の確保・育成を促進する。



## 大室地区の状況

## 生産現場

- 大室集落の農業者の効率的な生産を図るとともに、利益を増進するため、飼料用稲WCS部会が設立された。



## 地域ぐるみの機構活用

## 地域の取組

- 集落の担い手が中心となり、ほ場整備後の農地利用の話し合いが進められた。
- 平成30年度までに地区農地の5割以上が農地中間管理機構を通じて、地区の担い手へ貸し付けられた。

## 「人・農地プラン」推進への取組

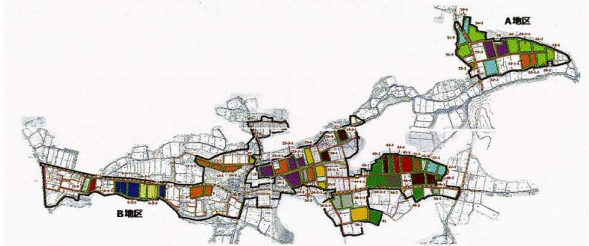
## 関係市の取組

- 本地区は、人・農地プランの重点支援地域として、市が主体となった推進により貸付け面積の拡大を図っている。

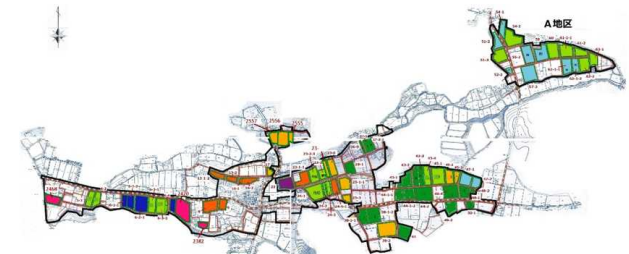
## 機構活用による農地集積・集約化

## 【機構活用時の地区状況】

- 農地面積 : 60ha
- 担い手への集積面積 : 35ha(集積率58%)
- 中心となる担い手 : 8経営体



機構活用前(H28)



機構活用後(H30)